

事業報告書

1 支援団体名	本明川を語る会
2 事業名称	第11回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～
3 実施日時	令和元年7月20日（土） 13:00～15:30
4 実施場所	諫早市民センター
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容） 本年は昭和32年7月の諫早大水害から62年を迎える。諫早大水害を風化させないために、水害記録映画上映・体験者手記朗読・体験者談・水害遺構紹介などを通して、その災禍を語り継ぎ、安全・安心なまちづくりを目指す。 1）体験者手記朗読 『八人のいはいをだいて』（六年林 信行）朗読：亀井一菜・笹原彩音 （2）体験者談：木本和義 （3）諫早市ハザードマップ紹介 （4）劇『ランドセル』子ども劇団ホーリーゴースト （5）大水害記録映画上映 （6）本明川の歌『本明川に捧ぐ』『とっても大切なもの』斉唱：コールすみれ、葡萄の会
	（事業実施効果） （1）11回目の事業であったが、継続することの重要性が確認された。 （2）この事業を通して、最近の想定外の大災害発生を身近に感じ、水害の恐ろしさ・生命の尊さが再認識され、日ごろの防災対策の必要性など防災意識の高揚が図られた。 （3）本明川を語る会の地道な活動が評価され、行政・関係団体・市民等に広く周知してもらう機会になった。あらためて継続することの重要性を再確認できた。
6 参加内訳	総人数 150 名
	（1）主催者参加 20 名
	（2）日本人参加（（1）を除く） 130 名
	（3）外国人参加（（1）を除く） 0 名
7 今後の方針	（1）この事業の成果・課題などを検証し、内容を充実させる。 （2）行政との協働体制を維持する。長崎河川国道事務所と諫早市の全面的な支援を得る。また助成金を活用して、必要経費を確保する。 （3）若い世代のアイデアや企画を活かし、若者の参加を呼び込む。

防災パネル展



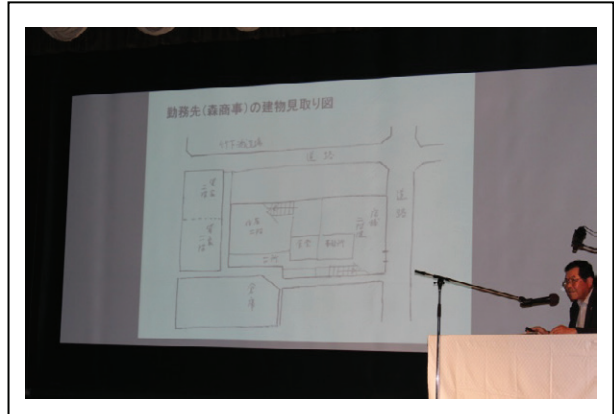
大水害記録映像上映



体験者手記朗読



体験者談



ハザードマップの紹介



劇「ランドセル」

